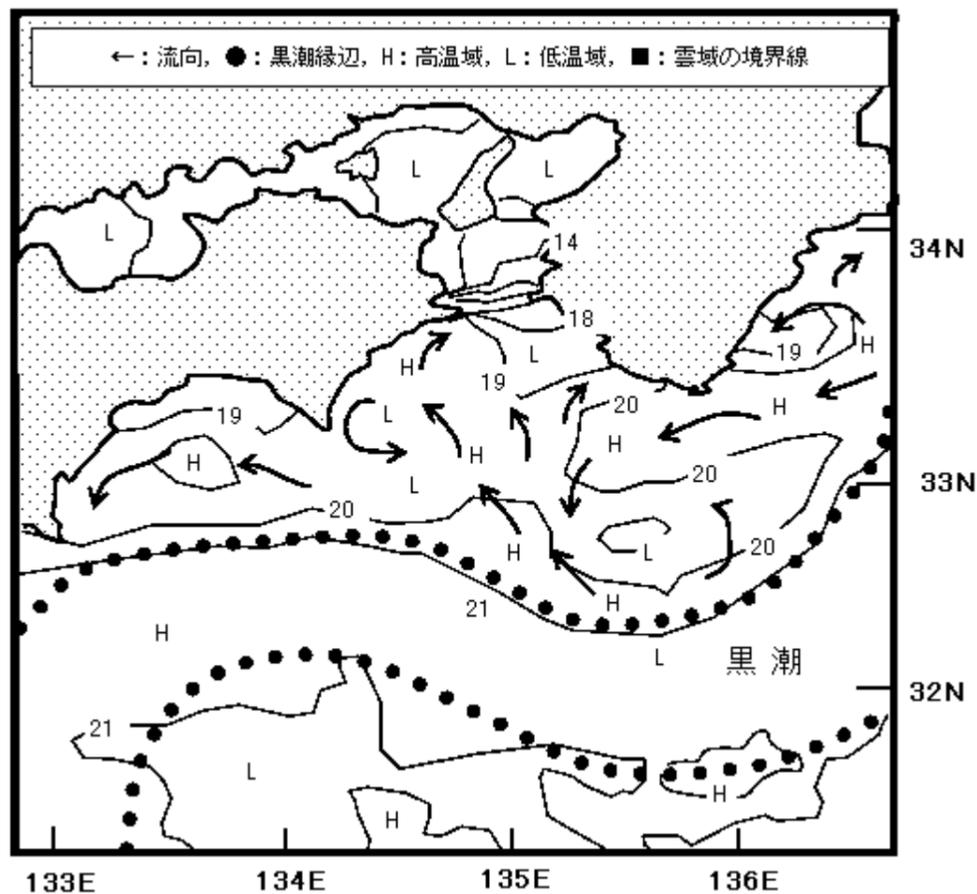


1. 海況の経過

1) 黒潮

九州東岸でやや離岸、足摺岬沖で接岸、室戸岬～紀伊水道沖～潮岬で離岸して流れている。表面水温は21℃前後。現在、黒潮の小蛇行が潮岬沖を通過中であり、潮岬沖で黒潮が離岸している。



2) 海況

上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.2.12～13)を示した。

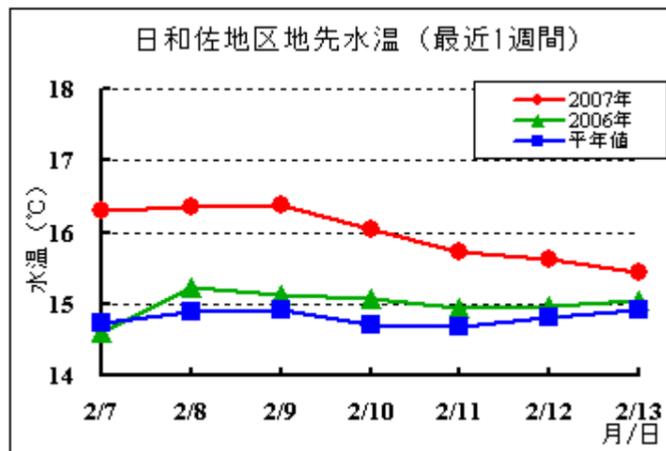
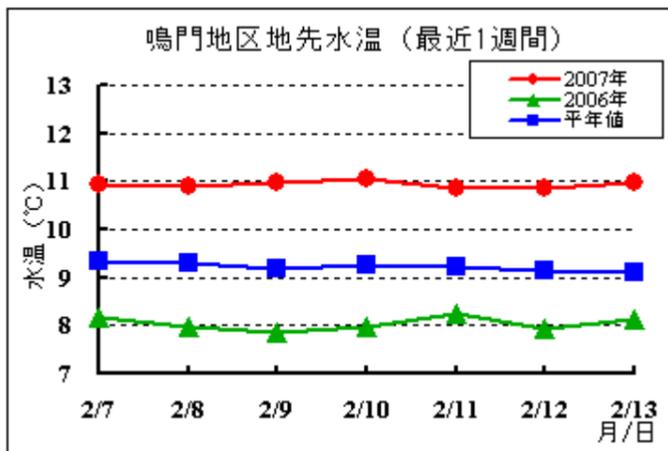
表面水温は播磨灘が11～12℃、紀伊水道内部が13～18℃、水道外部は18～20℃で覆われている。

19℃の黒潮系暖水が潮岬沖から徳島県沿岸部に流入している。

3) 地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の10.9～11.1℃で、日和佐地区が「やや高め」～「高め」の15.4～16.4℃で、牟岐地区は「高め」～「かなり高め」の16.6～17.2℃で推移した。

気温の上昇と先週から継続している黒潮系暖水の強い差し込みにより各地区ともに高め基調で推移していると考えられる。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にアマダイが0.5トン(1日1隻あたり18kg)、小主体にサバフグが0.4トン(同16kg)水揚げされた。

すくい網:海部沿岸で、カワハギが0.7トン(同42kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、大主体にアオリイカが1.7トン(同15kg)、キビナゴが0.5トン(同25kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、ブリが0.4トン(同48kg)、小小主体にマアジが0.4トン(同45kg)、大主体にスルメイカが0.2トン(同30kg)水揚げされた。

建網:海部沿岸で、中主体にヒラメが0.2トン(同14kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にタチウオが6.8トン(同105kg)、大主体にアオリイカが0.8トン(同7kg)、ゴマサバが0.6トン(同42kg)、大主体にカミナリイカが0.4トン(同6kg)、紀伊水道でも、特大、大主体にタチウオが3.7トン(同91kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)2月1日～2月7日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	30	527	18	大主体
		サバフグ	28	436	16	小主体
すくい網		カワハギ	16	677	42	
小型定置網		アオリイカ	108	1,668	15	大主体
		キビナゴ	20	509	25	
大型定置網		ブリ	8	385	48	
		マアジ	8	363	45	小主体
		スルメイカ	8	243	30	大主体
建網		ヒラメ	16	218	14	中主体
釣り		タチウオ	65	6,827	105	大主体
	アオリイカ	107	751	7	大主体	
	ゴマサバ	15	627	42		
	カミナリイカ	69	383	6	大主体	
	紀伊水道	タチウオ	40	3,660	91	特大、大主体

週間予報:

黒潮は、室戸岬が「かなり離岸」、潮岬沖が「やや離岸」で推移する見込み。
地先水温は、鳴門地先で「高め」の10～11℃、日和佐地先で「高め」の15～16℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のパッチ網でシラスが13.3トン(1日1隻あたり167kg)、曳き縄でタチウオが8.4トン水揚げされた。
高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが1.9トン、ウルメイワシが1.5トン、スルメイカが2.6トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上